








Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.1 (SCCP/SIP)

(ライセンスおよび保証規定を含む)



電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前後にオフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。または、オフフックにしてナビゲーションボタンを押し、発信履歴ログを確認します。
コール中にハンドセットを切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中に、スピーカまたはヘッドセットに切り替えます。	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押し、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[編集] <<または>>を押します。
コールを保留 / 復帰する	[保留] または [復帰] を押します。
コールを新しい番号に転送する	[転送] を押し、番号を入力してから、 [転送] をもう一度入力します。
標準の(アドホック)会議コールを開催する	[次へ] > [会議] を押し、参加者にダイヤルをしてから、再び [会議] を押します。



Cisco, Cisco IOS, Cisco Systems, and the Cisco Systems logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. or its affiliates in the United States and certain other countries. All other brands, names, or trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

OL-11526-01-J



Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.1 (SCCP/SIP)

ソフトキーの機能
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
電話機の一般的なタスク




ソフトキーの機能

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
戻る	前のヘルプの項目に戻る
割込み	共有回線のコールに参加する
折返し	話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在の画面を閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
削除	編集機能を使用しているときに、カーソルの右側にある文字を削除する
詳細	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細レコードを開く
ダイヤル	番号をダイヤルする
D 転送	2 つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトに戻す
終了	前の画面に戻る
G ピック	他のグループで呼び出し中のコールに応答する



即転送	ボイス メッセージ システムにコールを送信する
参加	複数のコールを 1 つの回線に加え、会議を開催する
リンク	関連のあるヘルプの項目を表示する
メイン	[ヘルプ] メイン メニューを表示する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられているグループで呼び出し中のコールに応答する
パーク	コール パークを使用してコールを保存する
ピックアップ	グループ内のコールに応答する
品質	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
復帰	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリのリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の上を移動する

電話スクリーンのアイコン




回線およびコールの状態

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	コールの着信
	オフフック
	オンフック
	使用中の共有回線



安全なコール








	認証されたコール
	暗号化されたコール

選択されたデバイス

	ハンドセットを使用中
	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中

その他の機能

	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト内のビジョー回線 (BLF 機能)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト内のアイドル回線 (BLF 機能)

	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト (回線ステータス不明)
	メッセージ受信
	ビデオが有効
	選択されたオプション
	機能が有効
	電話機サービス URL が割り当て済み
	履歴の URL エントリが編集可能

ボタン アイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	音量
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット



Contents

はじめに	1
このガイドの使用方法	1
詳細情報	2
安全および使用における情報	3
アクセシビリティ機能	5
電話機の接続	6
電話機の概要	9
ボタンとハードウェアについて	9
電話スクリーンの機能について	13
電話スクリーンのクリーニング	14
機能ボタンおよびメニューについて	14
電話機に関するヘルプシステムについて	15
回線とコールの違いについて	16
回線とコールのアイコンについて	16
録音トーンの認識	17
機能の可用性について	17
SIP と SCCP の違いについて	17
基本的なコール処理	18
コールの発信：基本的なオプション	18
コールの発信：その他のオプション	20
コールへの応答	22
コールの終了	23

コールの保留と復帰	23
ミュートの使用	24
複数のコール間の切り替え	24
複数のコールの表示	25
コールの転送	26
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	27
別の電話番号へのすべてのコール転送	28
サイレントの使用	29
会議コールの使用方法	30
会議コールのタイプについて	30
標準の会議の開催と参加	31
Meet-Me 会議コールの開催または参加	33
応用的なコール処理	34
短縮ダイヤル	34
自分の電話機で他の電話機の着信に応答する	36
共有回線の使用	37
共有回線について	37
共有回線のコールへの参加	38
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	39
パークされているコールの保存と取得	40
安全なコールの送受信	41
不審なコールのトレース	42
重要なコールの優先順位付け	43
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	44
BLF の使用による回線の状態の判断	45
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	46
ヘッドセットの購入	47

自動応答の使用方法	48
電話機の設定の使用方法	49
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	49
電話スクリーンのカスタマイズ	51
履歴およびディレクトリの使用方法	52
履歴の使用方法	52
ディレクトリ ダイヤリング	55
電話機の社内ディレクトリの使用方法	56
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	57
ボイス メッセージへのアクセス	60
Web での電話機のカスタマイズ	61
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	62
Web での機能およびサービスの設定	63
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	63
Web での個人アドレス帳の使用方法	63
Web でのファースト ダイアルの設定	64
アドレス帳同期ツールの使用方法	65
Web での短縮ダイアルの設定	65
Web での電話機サービスの設定	66
Web でのユーザ設定の制御	68
Web での回線設定の制御	69
Cisco WebDialer の使用方法	71
その他の設定オプションについて	73
電話機のトラブルシューティング	75
一般的なトラブルシューティング	75
電話機の管理データの表示	76

Quality Reporting Tool の使用方法 76

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 77


索引



はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、  を押してください。
安全情報を参照する	P.3の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.6の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンライトの意味について	P.9の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
ディスプレイについて調べる	P.13の「電話スクリーンの機能について」を参照してください。
コールを発信する	P.18の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.23の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.24の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.26の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.30の「会議コールの使用法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.34の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.37の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.46の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法」を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	P.49の「電話機の設定の使用法」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.52の「履歴およびディレクトリの使用法」を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	P.60の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

詳細情報

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用における情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco Unified IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



警告

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートはいずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。

**注意**

インライン電源の回路では、通信ケーブルを介して電流が供給されます。シスコが提供するケーブル、または 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco Unified IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。

**警告**

この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。

**警告**

この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。

**警告**

プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。

**警告**

電源装置は屋内に設置する必要があります。

**注意**

この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置のリセットまたは再設定をしてから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。



注意

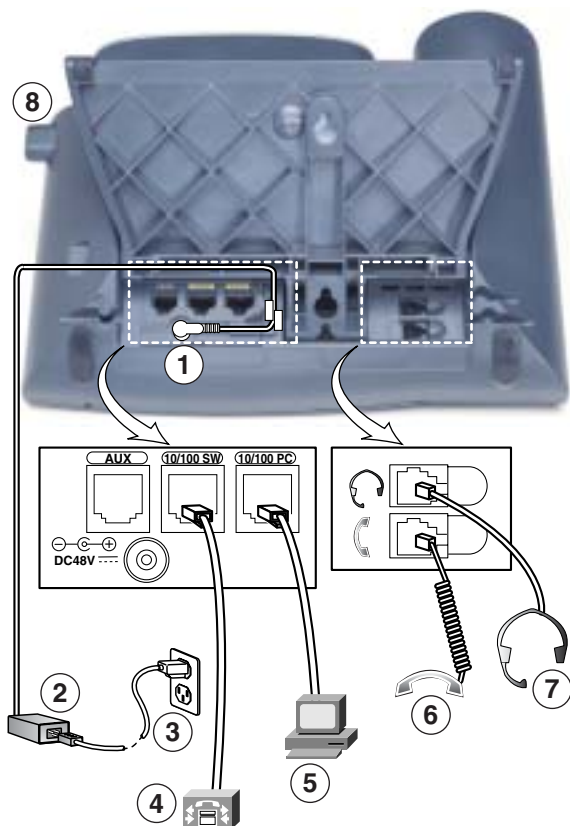
欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



113656

1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 ¹ PC)
2	AC-DC 電源装置	6	ハンドセット ポート
3	AC 電源コード	7	ヘッドセット ポート
4	ネットワーク ポート (10/100 ¹ SW)	8	フットスタンド ボタン

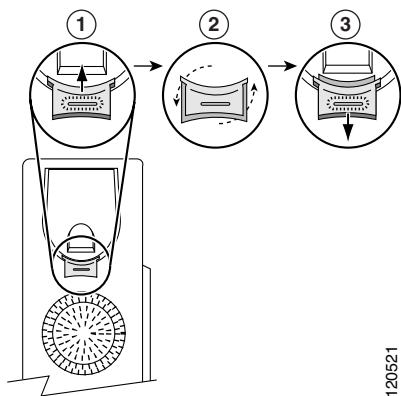
1. 電話機によっては、10/100/1000 と表示されている場合があります。

フットスタンドの調節

電話機本体の角度を変更するには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

ハンドセット受け台の調節

電話機を壁に取り付ける場合は特に、ハンドセットの受け台を調整することをお勧めします。調整により、ハンドセットが受け台から滑り落ちにくくなります。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセットポートに差し込みます。

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を1つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、[P.5 の「外部デバイスの使用方法」](#)を参照してください。

一部のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ユーザに聞こえるハム雑音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。詳細については、[P.4 の「外付け電源装置の使用」](#)を参照してください。

オーディオの品質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットやハンドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットやハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7961G と 7961G-GE (ギガビット イーサネット バージョン) および 7941G と 7941G-GE (ギガビット イーサネット バージョン) は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、短縮ダイヤル番号、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

ギガビット イーサネット バージョンの Cisco Unified IP Phone 7961G-GE および 7941G-GE は、ギガビット イーサネット VoIP テレフォニーの最新テクノロジーを提供し、ユーザの机上でギガビット スループットを実現します。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、この電話機では次のものをサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機の機能のオンライン カスタマイズおよびユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアの理解のために [図 1](#) および [図 2](#) を使用することができます。

图 1 Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE




















137503

图 2 Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE



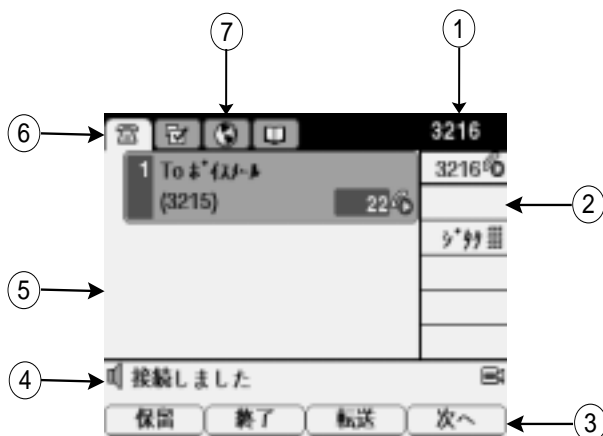
137504

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	プログラマブル ボタン 	設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線（回線ボタン） • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（Personal Address Book（PAB; 個人アドレス帳）ボタンなど） • 電話機の機能（プライバシー ボタンなど） 表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。 <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブ コールです。  緑、点滅：コールは保留状態です。  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中です。  オレンジ、点滅：コールが着信しています。  赤、点灯：リモート回線が使用中です（共有回線またはBLFステータス）。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電話スクリーンの機能について（P.13） • 基本的なコール処理（P.18） • 短縮ダイヤル（P.34） • 共有回線の使用（P.37） • BLFの使用による回線の状態の判断（P.45）
2	電話スクリーン	電話機の機能を表示します。	P.13の「電話スクリーンの機能について」
3	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	P.7の「フットスタンドの調節」
4	メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイスメッセージ サービスに自動ダイヤルします。	P.60の「ボイスメッセージへのアクセス」
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	P.52の「履歴の使用法」
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ]メニューをアクティブにします。	P.15の「電話機に関するヘルプシステムについて」

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
7	設定ボタン 	[設定] メニューを開閉します。電話スクリーンのコントラストおよび呼出音を制御するために使用します。	P.49 の「電話機の設定の使用方法」
8	サービス ボタン 	[サービス] メニューを開閉します。	P.61 の「Web での電話機のカスタマイズ」
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック） および呼出音の音量（オンフック）を制御します。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
11	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。ミュート機能がオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	P.24 の「ミュートの使用」
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。	P.52 の「履歴の使用方法」
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.18 の「基本的なコール処理」
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.13 の「電話スクリーンの機能について」
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイスメッセージがあることを示します。	P.60 の「ボイス メッセージへのアクセス」

電話スクリーンの機能について

次の図は、アクティブなコールと複数の機能メニューが開いているメインの電話スクリーンの概観を示しています。








1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブルボタンのインジケータ	プログラマブル ボタンには、電話回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話機サービスボタン、また電話機能ボタンとしての働きもあります。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコン リファレンスについては、このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードの「 電話スクリーンのアイコン 」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーをアクティブにするには、ソフトキー ボタンを押します。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	発信者 ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。 P.16 の「回線とコールのアイコンについて」 および P.25 の「複数のコールの表示」 を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブを押して、コール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブは、開いている機能メニューを示します。 P.14 の「機能ボタンおよびメニューについて」 を参照してください。

電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンを拭く場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。








機能ボタンおよびメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ディレクトリ  設定  ヘルプ
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します各機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。


電話機に関するヘルプ システムについて

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
メイン メニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メイン メニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明 • 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順 • コール機能：コール機能に関する説明や手順 • ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すぐにボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、または  を押して、機能メニューを表示します。メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 をすばやく 2 回押します。必要なヘルプ項目を選択します。

回線とコールの違いについて











回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号にそれぞれ対応しています。設定に応じて、Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE は 1 ~ 6 本、Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE は 1 ~ 2 本の回線をサポートします。電話機に割り当てられた回線の本数は、電話スクリーンの右側で確認します。電話機の回線の本数は、電話番号と電話回線アイコン  の数と同じです。

コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

電話機には、コールと回線の状態の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に現在接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線で着信コールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.23 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。詳細については、P.37 の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	認証されたコール	P.41 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.41 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	アイドル回線 (BLF)	P.45 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。
	ビジー回線 (BLF)	P.45 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。

録音トーンの認識


システム管理者によって電話機が録音トーン（ビープ トーンともいいます）をサポートするように設定されている場合は、コールの発信者と受信者にそのコールが記録されている可能性があることを示すビープ トーンが聞こえる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリング プロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。





電話機の機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

基本的なコール処理



機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をご紹介します。




目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	P.9の「電話機の概要」
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	P.46の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合、[発信] を押し、番号を入力します。	P.46の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態ではナビゲーションボタンを押し、発信履歴を参照します。	P.52の「履歴の使用法」
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none">1. [保留] を押します。2. [発信] を押します。3. 番号を入力します。	P.23の「コールの保留と復帰」
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。2. リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。	P.52の「履歴の使用法」


ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、**[ダイヤル]**  または  を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、<<を押して、番号を消去します。

コールの発信：その他のオプション







この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（異なる回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい回線で  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 2. 番号を入力します。 	P.23 の「 コールの保留と復帰 」
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • （短縮ダイヤル ボタン）を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 • ファースト ダイヤル機能を使用します。 	P.34 の「 短縮ダイヤル 」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  >[社内ディレクトリ]を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. 名前を入力して[検索]を押します。 3. リストを強調表示し、オフフックにします。 	P.52 の「 履歴の使用方法 」
Cisco WebDialer を使用し、パーソナルコンピュータ上の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	P.71 の「 Cisco WebDialer の使用方法 」
話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに、Cisco CallBack を使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえてくるときに、[折返し]を押します。 2. 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 3. 再びコールを発信します。 	システム管理者

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。	P.45 の「BLF の使用による回線の状態の判断」
プライオリティ (precedence) コールをかける (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力し、電話番号を入力します。	P.43 の「重要なコールの優先順位付け」
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="438 524 904 589">1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 <li data-bbox="438 597 904 662">2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	P.57 の「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="438 678 904 711">1. 番号をダイヤルします。 <li data-bbox="438 719 904 873">2. トーンの後、CMC (Client Matter Code) または FAC (Forced Authorization Code) コードを入力してから番号をダイヤルする必要があります。 	システム管理者
Cisco Unified エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機のエクステンション モビリティ サービスにログインします。	P.44 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」



コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は、押しします。  がすでに点灯している場合は、 [応答] または  (点滅) を押しします。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
スピーカフォンで応答する	 、 [応答] 、または  (点滅) を押しします。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押しします。	P.23 の「コールの保留と復帰」
コール ウェイティングを使用して応答する	[応答] を押しします。	P.23 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押しします。	P.27 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」
自動接続コール	自動応答を使用します。	P.48 の「自動応答の使用方法」
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークを使用します。	P.40 の「パークされているコールの保存と取得」
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コールピックアップを使用します。	P.36 の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答する」
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押しします。	P.43 の「重要なコールの優先順位付け」


コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。


目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または[終了]を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。ヘッドセットモードをアクティブに保持する場合は、[終了]を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または[終了]を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	[終了]を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。



目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。 [保留]を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 [復帰]を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<p>該当する回線で  を押します。</p> <p>この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールをスクロールし、[復帰]を押します。</p>

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留アイコン  で示されます。



ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットと連動してミュートを使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ミュートをオンにする	 を押します。
ミュートをオフにする	 を押します。

複数のコール間の切り替え

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替えるコールが強調表示されていることを確認します。[復帰] を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	切り替え中の回線で  を押します。 この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、[復帰] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。





複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。




- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2. すぐに回線ボタン  を押します。
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示されている回線で  を押します。</p> <p>電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。</p> <p>標準表示モードに戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールから、[転送]を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. [転送]を再び押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断することによって交互に転送を完了することができます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールから、[転送]を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送]を再び押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断することによって交互に転送を完了することができます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する(直接転送、SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none">1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [選択]を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で[D 転送]を押します([D 転送]を表示するために、必要に応じて[次へ]を押します)。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに[参加]を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	<p>[即転送]を押します。詳細については、P.27の「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」を参照してください。</p>

ヒント

- 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、**[転送]**を押してから切断することができます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、**[転送]**を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [転送]**を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[復帰]**を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送]を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、**[即転送]**を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、**[即転送]**でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、**[即転送]**を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。



目的	必要な操作または状態の説明
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送]を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、**[即転送]**をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコール転送

[不在]を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできません。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	[不在]を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[不在]を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	確認： <ul style="list-style-type: none">プライマリ電話番号にコール転送アイコン  が表示されていることを確認します。ステータス行でのコール転送の転送先番号
プライマリでない回線のコール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照)。コール転送設定にアクセスします (P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代わりとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>



ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。

サイレントの使用

(SIP 電話機のみ)

サイレント機能を使用して、電話機にかかってくる着信コールをビジー音でブロックできます。

目的	必要な操作または状態の説明
サイレントをオンにする	<ol style="list-style-type: none">  > [デバイス設定] [コールの設定] [サイレント] を押します。 [Yes] を選択し、[保存] を押します。 <p>ステータス行に「サイレント」と表示され、[サイレント] ソフトキーが追加されます。</p>
サイレントをオフにする	<p>[サイレント] ソフトキーを押すか、次の操作を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">  > [デバイス設定] [コールの設定] [サイレント] を押します。 [No] を選択し、[保存] を押します。

ヒント

- サイレントがオンの場合は、次のようになります。
 - サイレント ブロック機能は、使用している電話機のすべての回線に適用されます。
 - 着信コールは、電話機の不在履歴ディレクトリに記録されません。
- 電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合は、着信コールに対して [不在] が優先されます。つまり、コールは転送され、発信者にビジー音は聞こえません。
- 電話機で [サイレント] が有効でない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、3 つ以上の別個のコールを 1 つの会話に集めて、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

電話機のソフトキーが使用可能である場合、必要に応じて、複数の方法で標準の会議を開催できます。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールに参加することにより、標準の会議コールを開催するときに使用します (SCCP 電話機のみ)。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機だけに利用可能です。

手順の詳細については、[P.31 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。


Meet-Me 会議コール

指定された時間に Meet-Me 電話番号にコールを発信して、Meet-Me 会議を開催できます。

手順の詳細については、[P.33 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1つのコールに3名以上の人々が参加できます。

目的	必要な操作または状態の説明
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を開催する 既存の会議に新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 接続コールから、[会議] を押します。（必要に応じて、[会議] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。 参加者の電話番号を入力します。 コールの接続を待ちます。 [会議] を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。 この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
2つ以上の既存のコールを参加させて、会議を開催する（SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"> 1つの回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 会議に追加するコールを強調表示します。 [選択] を押します。 コールを選択すると、<input checked="" type="checkbox"/> のアイコンが表示されます。 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 選択したコールのいずれかで、[参加] を押します（必要に応じて、[参加] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。 <p> (注) アクティブコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込み、会議を開催する	共有回線でコールを強調表示し、[C 割込] を押します（必要に応じて、[C 割込] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> アクティブな会議を強調表示します。 [参加者] を押します。 <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	<p>[ドロップ] を押します。</p> <p>参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。</p>



目的	必要な操作または状態の説明
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [削除]を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または [終了] を押します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから**[会議]**または**[参加]**を押します(**[参加]**を使用できるのはSCCP電話機のみ)。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから、切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開催する準備ができれば、オフフックにしてダイヤルトーンを呼び出し、[ミートミー]を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。 <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>Meet-Me 会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。</p> <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。



短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤルおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.62の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファーストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.57の「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - システム管理者が、短縮ダイヤルを設定することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none">1. 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.65の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。2. コールを発信するには、 (短縮ダイヤル ボタン) を押します。 <p> (注) 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。P.45の「BLFの使用による回線の状態の判断」を参照してください。</p>


目的	必要な操作または状態の説明
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="346 191 1212 248">1. 固定短縮ダイヤルコードを設定します。P.65の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。<li data-bbox="346 264 1212 321">2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮]を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="346 337 1212 435">1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファーストダイヤルコードを割り当てます。P.63の「Webでのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。<li data-bbox="346 451 1212 537">2. コールを発信するには、電話機からファーストダイヤルサービスにアクセスします。P.57の「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。

自分の電話機で他の電話機の着信に応答する

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理を共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
自分のコール ピックアップグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[ピック] ソフトキーが使用可能である場合、キーを押します。[ピック] ソフトキーが使用できない場合、オフフックにして表示してから [ピック] を押します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[G ピック] ソフトキーが使用可能である場合、キーを押します。[G ピック] ソフトキーが使用できない場合、オフフックにして表示してから [G ピック] を押します。グループ ピックアップのコードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられているグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[他 Grp] ソフトキーが使用可能である場合、キーを押します。[他 Grp] ソフトキーが使用できない場合、オフフックにして表示してから [他 Grp] を押します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- [**ピック**] と [**G ピック**] を押すと、最も長くなり続けているコールに接続します。
- [**他 Grp**] を押すと、プライオリティの最も高いピックアップグループ内のコールに接続します。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線でコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのソフトキーを押します。


共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有ラインの使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

共有回線の別の電話に接続コールがある場合、リモートで使用中のアイコン  が表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます（例外については、[P.37 の「プライバシー」](#)の項を参照）。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、**[割り込み]** または **[C 割込]** を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加することができます。[P.38 の「共有回線のコールへの参加」](#)を参照してください。

プライバシー




回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。[P.39 の「他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止」](#)を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定によって、**割り込み機能**または**C 割り込み機能**のいずれかを使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できる場合があります。







目的	必要な操作または状態の説明
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  のとなりのリモートで使用中のアイコン  を確認します。
共有回線でアクティブなコールの詳細を確認する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  を押します。プライベートコール以外はすべて電話スクリーンのコール アクティビティ領域に表示されます。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。2. [割り込み] を押します。(必要に応じて、[割り込み] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピーブ音が鳴ります。
[C 割込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。2. [C 割込] を押します。(必要に応じて、[C 割込] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 他の参加者に対してトーンおよび短い割り込み音が鳴り、電話スクリーンのコール情報が変わります。
割り込んだコールに新しい会議の参加者を追加する	使用可能な場合、[C 割込] を使って、コールに割り込みます。 [割り込み] とは異なり、[C 割込] を使用すると、コールが標準の (アドホック) 会議コールに切り替えられ、会議に新しい参加者を追加できるようになります。P.30 の「 会議コールの使用方法 」を参照してください。
割り込んだコールを切断する	切断します。 割り込み機能の使用後にコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。 C 割込の使用後にコールを切断すると、3 名以上の参加者が回線に残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。

ヒント

- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- [割り込み] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [非通知 ] を押します。 2. プライバシー機能がオンになっているのを確かめるには、オレンジの回線ボタン  のとなりの、プライバシー機能が有効のアイコン  を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [非通知 ] を押します。 2. プライバシー機能がオフであることを確かめるには、点灯していない回線ボタン  のとなりのプライバシー機能が無効のアイコン  を確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

目的	必要な操作または状態の説明
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に[パーク]を押します（必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[パーク]を押します）。2. 電話機のスクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。





(注) パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールをサポートできます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機は、Cisco IP ネットワーク内で暗号化されたオーディオ（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機が検証できません。

目的	必要な操作または状態の説明
コールのセキュリティ レベルを確認する	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <p> 認証されたコール</p> <p> 暗号化されたコール</p> <p>コールがノンセキュアの場合は、どちらのセキュリティ アイコンも表示されません。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

(SCCP 電話機のみ)

不審(迷惑)なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作または状態の説明
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話機のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。



目的または状態	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール ウェイティングのトーンが鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。
コールのプライオリティ レベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ プライオリティ コール ▣ プライオリティのやや高い (即時) コール ▢ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ▣▣ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコールウェイティングのトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使って、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定することができます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。









目的	必要な操作または状態の説明
EM へのログイン	<ol style="list-style-type: none">1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ユーザ ID および PIN (システム管理者より提供されたもの) を入力します。3. 指示がある場合、デバイス プロファイルを選択します。
EM からのログアウト	<ol style="list-style-type: none">1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトの指示があったら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- (ユーザ オプション Web ページから) EM プロファイルに対する変更点は、次回、電話機の EM へログインするときに有効になります。
- 電話機だけに制御を受ける設定は、EM プロファイルには、保持されません。









BLF の使用による回線の状態の判断


設定に応じて、Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) を使用して、短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた別の電話回線の状態を電話機で判断できます。この回線にコールを発信することは、BLF ステータスにかかわらず可能です。この機能は、ダイヤルを妨げるものではありません。

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号のとなりのインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <p> +  回線は使用中です。</p> <p> +  回線はアイドルの状態です。</p> <p> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</p>
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号のとなりのインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <p> 回線は使用中です。</p> <p> 回線はアイドルの状態です。</p> <p> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</p>

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンと一緒に電話機を使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。
ヘッドセットを使用する	<p>ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えるには、 を押します。ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。</p> <p>自動応答を使用する場合は、P.48 の「自動応答の使用法」を参照してください。</p> <p>ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。この設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。</p> <p>システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンド ヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。</p>
スピーカフォンを使用する	<p>スピーカフォン モードのオン/オフを切り替えるには、 を押します。</p> <p>ハンドセットが受け台に置かれていて、 が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに応答すると、通常はスピーカフォン モードが自動的に有効になります。</p>
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。




目的	必要な操作または状態の説明
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。</p> <p>この操作によって、ハンドセット、スピーカフォン、またヘッドセットの使用状況に応じて、それらのボリュームを調節します。</p> <p>[保存] を押して、以降のコールのために音量レベルを保存します。</p>

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が 4 本または 6 本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.8 の「[ヘッドセットについて](#)」を参照してください。

自動応答の使用方法

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。



目的または状態	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コール中でない場合でも、ヘッドセットモードをアクティブ（つまり  が点灯した状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセットモードをアクティブにするには、次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">• [終了] を押して、切断します。• 新しくコールを発信するには、[発信] または [ダイヤル] を押します。 <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されている場合、コールは  が点灯しているときにのみ自動的に応答されます。条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを非アクティブ（ が消灯）にしておきます。</p> <p>条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>



電話機の設定の使用法

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズすることができます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ








着信コールや新しいボイスメール メッセージの示し方をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
回線ごとの呼出音のトーンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。 2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。 3. 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。 4. [選択] および [保存] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル] を押します
回線ごとに呼出音のパターン (点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. コール呼出音のパターンの設定にアクセスします (P.69 の「Web で の回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスする前に、システム管理者がこの設定を有効にしておく必要があります。</p>


目的	必要な操作または状態の説明
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライトストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。






目的	必要な操作または状態の説明
電話スクリーンのコントラストを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="427 344 1268 375">1.  > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。 <li data-bbox="427 386 1268 417">2. 調整するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。 <li data-bbox="427 428 1268 459">3. [保存] または [キャンセル] を押します。 <p data-bbox="470 483 526 514"> (注) 非常に明るいか、または非常に暗いコントラストを間違っ</p> <p data-bbox="571 516 1263 605">て保存し、電話スクリーンの表示が見えなくなった場合、次の操作を行います。</p> <p data-bbox="571 638 1189 669"> を押してから、キーパッドで 1、3 を押します。</p> <p data-bbox="571 701 1260 758">次に、 を押して電話スクリーンの表示が見えるようになるまでコントラストを変更し、[保存] を押します。</p>
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="427 782 1268 813">1.  > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。 <li data-bbox="427 824 1268 881">2. スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択] を押して画像を選択します。 <li data-bbox="427 893 1268 924">3. [プレビュー] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。 <li data-bbox="427 935 1268 966">4. [終了] を押して、選択メニューに戻ります。 <li data-bbox="427 977 1268 1034">5. [保存] を押して画像を受け入れるか、または [キャンセル] を押します。 <p data-bbox="470 1058 526 1089"> (注) 選択した画像が表示されない場合、このオプションはシステムで無効になっています。</p>
スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="427 1188 1268 1245">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 <li data-bbox="427 1256 1268 1313">2. ユーザ設定にアクセスします (P.68 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください)。
回線テキストラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="427 1343 1268 1399">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 <li data-bbox="427 1411 1268 1468">2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。



履歴およびディレクトリの使用方法


この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリ ボタン  を使用します。

履歴の使用方法

電話機は、履歴を保持しています。履歴には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴があります。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. コール レコードを強調表示します。3. [詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報（発信履歴と着信履歴の場合のみ）が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 を押してから [クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. コール レコードを強調表示します。3. [クリア] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します）。
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. コール レコードを強調表示します。3. [削除] を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする (別のコールに接続して いない状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<< または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します (必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. オフフックにしてコールを発信します。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続した 状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<< または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します (必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. [ダイヤル] を押します。 5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。 • [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します)。 • [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します)。 • [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する(SCCP 電話機のみ)	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。P.45 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
履歴の URL エントリからコールを発信する (SIP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. ダイヤルする URL エントリを強調表示します。 3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。 4. @ アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることが示されます。 5. [ダイヤル] を押します。

ヒント

(SCCP 電話機のみ)

マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコール レコードを表示するには、該当のコール レコードを強調表示して、[詳細] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。

- 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。



ディレクトリ ダイヤリング

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機およびユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。

電話機の社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。


目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーボードを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、リスト項目を選択するか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続している状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーボードを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。<ul style="list-style-type: none">• [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。• [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で[転送]をもう一度押します）。• [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で[会議]をもう一度押します）。• [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) のインジケータを確認します。P.45 の「BLFの使用による回線の状態の判断」を参照してください。



ヒント


キーボードの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法

パーソナルディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。または、P.63 の「Web でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
パーソナルディレクトリにアクセスする (PAB およびファーストダイヤルコードを使用する場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. Cisco Unified CallManager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索条件を入力し、[送信] を押します。 3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。 4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [ダイヤル] を押します。(必要に応じて、[ダイヤル] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. 参加者の電話番号を入力します。 5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。 6. もう一度 [OK] 押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。 4. [OK] を選択して、削除することを確認します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。 3. 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。 4. [更新] を押します。


目的	必要な操作または状態の説明
新規 PAB エントリ追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳]を選択します。 2. [送信]を選択することで、[検索]ページにアクセスします(最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [新規]を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話]を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード(9または1など)を必ず含めます。 6. [送信]を選択して、エントリをデータベースに追加します。
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ファーストダイヤル]を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択]を押します。 5. 番号に割り当てるファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。
新規ファーストダイヤルコードを追加する(PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [ファーストダイヤル]を押します。 3. 割り当てられていないファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。 4. [割り当て]を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新]を押します。
ファーストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [前へ]または[次へ]を選択して、リスト内を移動できます。 3. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。
ファーストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ダイヤル]を押します。 4. [OK]を選択して、操作を完了します。

目的	必要な操作または状態の説明
ファーストダイヤルコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。
パーソナルディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント




- システム管理者は、ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイスメッセージにアクセスするには、 ボタンを使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されます。ボイス メッセージ システムの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	 を押し、音声の指示に従います。 スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
新しいボイスメッセージの着信を確認する	確認： <ul style="list-style-type: none">• ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.49の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください）。• メッセージ受信アイコン  の点滅、およびスクリーンのテキストメッセージ。
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージメニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すと、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、またはスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お使いのボイスメッセージ サービスによって異なります。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。詳細については、P.27の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」を参照してください。

Web での電話機のカスタマイズ

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ユーザ オプション Web ページにアクセスする方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい]または[証明書のインストール]をクリックします。 <p>Cisco Unified CallManager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページで[ユーザオプション]を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスできます。</p> <p>または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します(次を参照)。</p>
ログイン後にデバイスを 選択する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。 <p>[デバイス設定]ページが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none">2. 複数のデバイスを割り当てられているユーザの場合は、適切なデバイス(電話機のモデルやエクステンション モビリティ プロファイル)が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前]ドロップダウンメニューから別のデバイスを選択します。 <p>[デバイス設定]ページから、ご使用の電話機で使用可能なすべての設定オプションにアクセスできます(他のページの場合、すべてのオプションにはアクセスできない場合があります)。</p> <ul style="list-style-type: none">- [ユーザオプション]を選択して、[ユーザ設定][ディレクトリ][個人アドレス帳]、および[ファーストダイヤル]にアクセスします。- ツールバーのボタンを選択して、回線の設定、電話機サービスの設定、および短縮ダイヤルなどの電話機固有のオプションにアクセスします。 <p>他のページから[デバイス設定]ページに戻るには、[ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。</p>

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページから機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、P.62 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

パーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- アドレス帳同期ツール (TABSynch)



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。P.57 の「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリ追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. [新規] をクリックします。 3. エントリの情報を入力します。 4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. エントリを必要に応じて編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

Webでのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザオプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
ファーストダイヤルコードをPABエントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを作成します。P.63 の「Webでの個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。3. [新規追加]をクリックします。4. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。5. [検索オプション]領域を使用して、適切なPABエントリを検索します。6. [検索結果]領域で電話番号をクリックします。7. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる(PABエントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. [新規追加]をクリックします。3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。4. 電話番号を入力します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルエントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 編集するファーストダイヤルエントリを検索します。3. エントリのコンポーネントをクリックします。4. 電話番号を変更します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルエントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. ファーストダイヤルを検索します。2. 1つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント

- ファースト ダイアルと PAB のエントリは、最大 500 個まで作成できます。
- 新しいファースト ダイアル エントリは、PAB エントリを使用することなく作成できます。このようなファースト ダイアル エントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期することができます。それによって、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。


Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイアル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.34 の「[短縮ダイヤル](#)」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [短縮ダイヤル] をクリックします。 3. 電話機の短縮ダイヤル ボタン (プログラマブル ボタン) の番号とラベルを入力します。 4. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>

目的	ログイン後に必要な操作
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [短縮ダイヤル] をクリックします。 3. 固定短縮コードの番号とラベルを入力します。 4. [保存] をクリックします。
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.64 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>ファーストダイヤルは、電話機からも設定できます。P.57 の「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>






ヒント

短縮ダイヤル ボタンは、電話機上の、回線ボタンとして予約されていない各プログラマブル ボタンに設定できます。この代わりに、固定短縮ダイヤルまたはファーストダイヤルを使用してください。

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場や映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [新規追加] をクリックします。 4. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。 5. サービス ラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。 6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更し、[保存] をクリックします。
サービスを電話機の使用可能なプログラマブルボタン  に追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。  (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。 3. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 4. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。  (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックして、電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押します。サービスをプログラマブル ボタン  に追加した場合は、ボタンを押します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ユーザ設定]を選択します。2. [ブラウザのパスワード]領域に情報を入力します。3. [保存]をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ユーザ設定]を選択します。2. [電話のPIN]領域に情報を入力します。3. [保存]をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ユーザ設定]を選択します。2. [ユーザ設定]ページの[ユーザロケール]領域で、[ロケール]ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存]をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[デバイス]を選択して、[デバイス設定]ページに移動します。2. [ユーザロケール]ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存]をクリックします。

ヒント


PIN とパスワードは、さまざまな機能やサービスにアクセスするために使用します。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（ディレクトリ番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイスメッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。



- (注)**
- （プライマリ電話回線の）コール転送は、電話機で直接設定することもできます。P.28 の「別の電話番号へのすべてのコール転送」を参照してください。
 - 電話機で直接アクセスできる電話機の設定については、P.49 の「電話機の設定の使用方法」を参照してください。


目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられているディレクトリ番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [着信コールの転送] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。 5. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイスメッセージのインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられているディレクトリ番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとの呼出音のパターンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられているディレクトリ番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [呼出音設定] 領域で、選択した回線の着信コールを電話機で示す方法を選択します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 電話機がアイドル状態のときに着信コールを受信する場合は、「アイドル」呼出音設定が関係します。電話機がアクティブなときに着信コールを受信する場合は、「連続」呼出音設定が関係します。</p>
電話スクリーンに表示される回線テキストラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられているディレクトリ番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [回線のテキストラベル] 領域に、テキストラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ディレクトリ]を選択し、同僚を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 <p>これで電話機からコールが発信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザ オプション ディレクトリではないもの）で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 <p>これで電話機からコールが発信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。

目的	必要な操作または状態の説明
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	<p data-bbox="380 269 807 297">[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p data-bbox="380 321 1214 386">[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するとき（ダイヤルする番号をクリックした後）に表示されます。</p> <p data-bbox="380 410 1214 475">後で [初期設定] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p data-bbox="380 500 985 527">[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul data-bbox="393 552 1214 1088" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="393 552 1214 609">• [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 <li data-bbox="393 625 1214 844">• [常設の電話を使う]: WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone およびディレクトリ番号（回線）を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します（電話機のホスト名を表示するには、 > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します）。 <li data-bbox="393 860 1214 950">• [エクステンションモビリティを使用する]: 選択した場合、WebDialer では、エクステンション モビリティ プロファイル（使用可能な場合）と関連付けられた Cisco Unified IP Phone が使用されます。 <li data-bbox="393 966 1214 1088">• [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドやその他のマニュアルには、
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm からアクセスできます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。 別の方法として、電話機に Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを接続することもできます。	参照先 <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル (P.34) Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール 7914 電話ガイド (SCCP 電話機のみ)
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である (SCCP 電話機のみ)	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified CallManager Assistant 共有回線 	参照先 <ul style="list-style-type: none"> 共有回線の使用 (P.37) Cisco Unified CallManager Assistant ユーザガイド


目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使うことができます。	P.37の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.34) • 共有回線の使用 (P.37) • Cisco エクステンション モビリティの使用法 (P.44)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.48の「自動応答の使用法」を参照してください。
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオ カメラを使用してビデオ コールを発信できます。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified Video Advantage クイックスタートガイド』および『Cisco Unified Video Advantage ユーザガイド』を参照してください。
電話機の短縮ダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field(BLF; ビジーランプ フィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	P.45の「BLFの使用による回線の状態の判断」を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.44の「Cisco エクステンション モビリティの使用法」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。

一般的なトラブルシューティング





この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤルトーンが聞こえない、またはコールを完了できない	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 • CMC または FAC を入力してから番号をダイヤルする必要があります (SCCP 電話機のみ)。 • 電話機に時間制限が設定されていて、一日の特定の時間帯に一部の機能が使用できなくなっています。
設定ボタンが反応しない	<p>システム管理者が電話機の  を無効に設定している可能性があります。</p>
使用したいソフトキーが表示されない	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • その他のソフトキーを表示させるために [次へ] を押す必要があります。 • 回線の状態を変更する必要があります (オフフックにする、または接続コールにするなど)。 • 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていない。
[参加]に失敗する (SCCP 電話機のみ)	<p>[参加]には複数の選択したコールが必要です。アクティブなコールのほかに少なくとも1つのコールを選択していることを確認してください (アクティブなコールは自動的に選択されます)。さらに、[参加]には、選択したコールが同じ回線にある必要もあります。必要に応じて、参加する前に1つの回線にコールを転送します。</p>

症状	説明
[割り込み]の失敗と速いビジー音	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[割り込み]を使用して参加したコールが切断される	[割り込み]を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されません。
Cisco CallBack の失敗	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク構成項目を選択します。
ステータスデータにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする (SCCP 電話機のみ)	 > [ステータス] > [コールの統計] を選択してください。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[品質] を押して、システム管理者に情報を送信することができます。設定に応じて、次のように [品質] を使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証とライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com から参照できます。次の手順を実行して Cisco.com から *Cisco Information Packet* および保証とライセンス契約にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. [Information Packet Number] フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. [Go] をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、PDF アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。
78-10747-01C0
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. [Go] をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、PDF アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力をいたします。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 65, 67

B

BLF 45

C

Cisco Unified IP Phone

接続 6

登録 7

~のオンライン ヘルプ 15

~の機能の設定 17, 73

~の図 10

~の説明 9

~の高さの調節 7

ハンドセット受け台の確実な取り付け 7

Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュール 73

Cisco Unified Video Advantage 74

Cisco WebDialer

「WebDialer」も参照 71

Client Matter Code 21

CMC 21

C 割込 38

F

FAC 21

Forced Authorization Code 21

M

Malicious Call Identification (MCID) 使用 42

Meet-Me 会議 30, 33

MLPP、使用 43

P

PAB 55

Q

QRT、使用方法 76

Quality Reporting Tool 76

T

TABSynch 65

TAPS、使用 7

Tool for Auto-Registered Phones Support 7

U	
URL ダイアル、履歴から	54
W	
Web ベースのサービス	
「ユーザ オプション Web ページ」を参照	66
WebDialer	20
あ	
アイコン	
回線の	16
コールの状態を示す	16
アドレス帳同期ツール	65
暗号化されたコール	41
安全、警告	3
安全なコール	41
い	
インストール、Cisco Unified IP Phone	6
え	
エクステンション モビリティ	
ログアウト	44
ログイン	44
お	
応答、コールへの、～のオプション	22
オーディオ、～の品質	8
オーディオに関する問題	76
音	
「オーディオ、～の品質」を参照	8
オンフック ダイアル	19
オンライン ヘルプ、使用	15
音量ボタン、説明	12
か	
会議コール	
Meet-Me	30, 33
標準	30, 31
回線	
アイコン	16
～と BLF の使用	45
～とコールの状態	16
～の説明	16
表示	13
回線ボタン、識別	11
カスタマイゼーション	
メッセージ	60
き	
キーパッド	
～の説明	12
機能、～のオペラビリティ	17, 73
機能ボタン	
サービス	12
設定	12
ヘルプ	11
メッセージ	11
機能メニュー、使用方法	17

- 共有回線
 - ～とリモートで使用中のアイコン 37
 - ～の説明 37
 - プライバシーの使用 39
 - 割り込みの使用 38
- 切り替え、コールの 24
- く
- グループ コール ピックアップ、使用方法 36
- け
- 警告、安全 3
- 言語（ロケール）設定 68
- こ
- コール
 - 安全な 41
 - 応答 22
 - 回線ごとの最大数 16
 - 回線との違い 16
 - サイレントの使用 29
 - 終了 23
 - 転送 26, 28
 - ～のアイコン 16
 - ～の会議機能 30
 - ～の複数の通話相手 30
 - ～の問題のレポート 76
 - パーク 40
 - 発信 18
 - 表示 13, 24
 - 複数、～の切り替え 24
 - 複数の処理 24
 - 複数の表示 25
 - ブロック 29
 - 保存と取得 40
 - 保留と復帰 23
 - ミュート 24
 - 優先順位付け 43
 - 呼び出し中のリダイレクト 36
 - 割り込み 38
 - コール アクティビティ領域、表示 13
 - コール ピックアップ、使用方法 36
 - コール ウェイティング 22
 - コール処理、応用的な 34
 - コール処理、基本的な 18
 - コール転送 28
 - コールパーク 40
 - 個人アドレス帳
 - 「PAB」を参照 57
 - 個人アドレス帳（PAB）
 - ～からダイヤル 21
- さ
- サービス
 - サービス名 67
 - ～への登録 66
 - 変更または解除 67
- サービス ボタン、説明 12
- サイレント 29
- し
- 自動応答 48
- 自動ダイヤル 19

社内ディレクトリ		ソフトキー ボタン	
電話機で使用	20	~の説明	12
~の Web ページからダイヤル	20	~のラベル	13
終了、コールの、~のオプション	23	た	
詳細 ソフトキー、~でのマルチパーティ コールの表示	54	ダイヤル、~のオプション	18
		タブ、電話および機能	13
す		短縮ダイヤル	34
ステータス データ、~へのアクセス	75	使用方法	20
ステータス行、表示	13	ボタン、特定	11
スピーカフォン		ラベル	13
~で応答	22	ち	
ボタン、識別	12	着信履歴、~のレコード	52
モード	46		
~を使用中に切断	23	て	
		ディレクトリ	
せ		社内	55
セキュリティ		電話機で使用	20, 52
安全なコールの送受信	41	~の Web ページからダイヤル	20
~のレベル	41	パーソナル	55
ノンセキュア コールの確認	41	テキスト、電話機への入力	17
切断、~のオプション	23	転送、コールの、~のオプション	28
設定		転送、~のオプション	26
オプション	73	電話回線	
機能およびサービス	63	~の説明	16
ファースト ダイヤル	64	~のボタン	11
設定ボタン、説明	12	表示	13
		電話機サービス	
そ		「ユーザ オプション Web ページ」も参照	66
即転送			
~の説明	2		

- 電話スクリーン
 - クリーニング 14
 - ~の機能 13
 - ~の言語の変更 51
 - ~のコントラストの調節 51

- と

- 登録
 - 「サービス、~への登録」を参照 66
 - トラブルシューティング 75
 - 「品質」も参照 75

- な

- 内線番号、表示 13
- ナビゲーション ボタン、説明 12

- に

- 認証されたコール 41

- ね

- ネットワーク構成データ、~へのアクセス 75

- は

- 発信、コールの、~のオプション 18
- 発信者 ID 13
- 発信履歴、~のレコード 52
- ハンドセット
 - 受け台への確実な取り付け 7
 - 使用方法 46

- ライトストリップ 12

- ひ

- ビジー ランプ フィールド
 - 「BLF」を参照 45
 - 品質 76

- ふ

- ファースト ダイアル サービス
 - ~を使用してダイアル 21
 - 複数のコール、処理 24
 - 不在履歴、~のレコード 52
 - 不審なコール、トレース 42
 - 復帰、使用 23
 - フットスタンド
 - 調節 7
 - ボタン、識別 11
 - プライバシー
 - 使用方法 39
 - ~と共有回線 37
 - プログラマブル ボタン
 - ~の説明 11
 - ~のラベル 13

- へ

- ヘッドセット
 - オーディオの品質 8
 - 購入 47
 - ~で応答 22
 - ボタン、識別 12
 - モード 46

~を使用中に切断	23
ヘッドセットのパフォーマンス、全般	8
ヘルプ、使用	15
ヘルプ ボタン、説明	11

ほ

ボイス メッセージ サービス	60
ボイス メッセージのインジケータ	60
保留	
使用方法	23
~とコールの切り替え	24
~とコールの復帰	23
~と転送	26

ま

マルチパーティ コール	
~の詳細の表示	54

み

ミュート、使用	24
ミュート ボタン、説明	12

め

メッセージ	
~のインジケータ	50, 60
~を聞く	60
メッセージ ボタン、説明	11
メニュー、使用方法	17

ゆ

ユーザ オプション Web ページ	
電話機サービスへの登録と登録解除	66
優先順位付け、コールの	43

よ

呼出音	
カスタマイズ	49
~のインジケータ	12

り

リダイヤル	18
リモートで使用中のアイコン、共有回線の	37
履歴	
削除	52
~にある URL エントリからのダイヤル	54
表示とダイヤル	52

わ

割り込み	
使用方法	38
~と共有回線	37
~とプライバシー	39

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(0601R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



Java ロゴは、米国または一部の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501